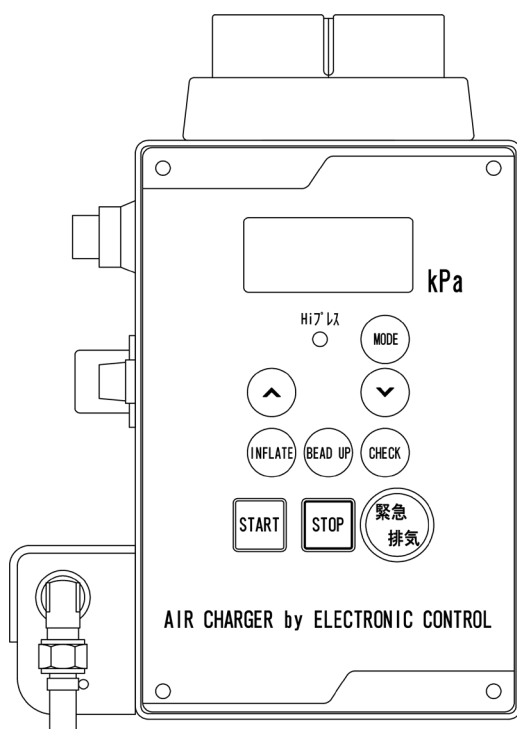


取扱説明書

AIR CHARGER by ELECTRONIC CONTROL

PA-01



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。



警告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用出来るよう大切に保管してください。



ONODANI

TIRE SERVICE SOLUTION

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	1
(1)労働安全衛生法について.....	2
(2)設置上の注意	2
(3)一般的な注意事項	2
4. 各部の名称	4
5. 操作手順	5
(1)始業点検.....	6
(2)取り扱い方法.....	6
■作業準備	6
■操作パネル／ボタン機能について.....	6
■基本操作	7
■各モードについて.....	8
■警告灯の動作内容.....	9
(3)エラー表示と解除方法.....	10
6. 調整方法	11
7. 定期点検	12
8. 仕 様	13
9. 製品保証規定	13
(1)保証規定	13
(2)保証請求方法	13
(3)アフターサービスについて	14
(4)設置(据付)及び移設について	14

1. まえがき

この度は弊社の「**エアー充填機**」をお買上頂き、誠にありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと本機の適正な能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので、充分ご理解のうえ正しくご使用ください。

なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失・汚損された場合には速やかに購入の上、正しく保管してください。

2. 使用目的

本機は、簡単な操作で自動的にPCタイヤにエアーの充填を行うことができる自動車整備用充填機です。

3. 危険・警告・注意事項



警 告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事柄が記載されていますので、必ず理解してからご使用してください。



危 険

……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告

……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注 意

……取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1)労働安全衛生法について

労働安全衛生法の労働安全衛生規則の第328条の2に於いて、タイヤの空気充填作業を行うときには安全囲いの使用が義務づけられています。

タイヤの空気充填作業の基準

第328条の2 事業者は、自動車(2輪自動車を除く)用タイヤ(以下この条において「タイヤ」という)の組立てを行う場合において、空気圧縮機を用いてタイヤに空気を充填する作業を行うときは、タイヤの破裂等による危険を防止するため、当該当作業に従事する労働者に、タイヤの種類に応じて空気の圧力を適正に調節させ、及び安全囲い等破裂したタイヤ等の飛来を防止するための器具を使用させなければならない。(根 20(1))

- 2 前項の作業に従事する労働者は、タイヤの種類に応じて空気の圧力を適正に調節し、及び同項の器具を使用しなければならない。(根 26)

(2)設置上の注意

1. 風・雨・直射日光は避けてください。
2. 設置場所はできるだけコンプレッサーに近い所に設置して配管も2分(8A)以上にしてください。(充填時圧力低下をきたし、充填時間が長くなります)
3. 電源はAC200Vです。



注 意

使用前には必ずエアーフィルターのドレインを抜いてください。
ドレインが本機内部のバルブに回ると誤作動(エラーの発生)バルブの損傷の原因となります。

(3)一般的な注意事項

1. タイヤ充填以外の目的で使用しないこと。
2. 操作の訓練を受けた人以外は使用しないこと。
3. 本機を濡れた状態で使用しないこと。又、濡れたタイヤは水気を切ってから作業すること。
4. 供給エアーはドレインや油分のない正常な圧縮空気を供給ください。
5. 供給エアーの圧力は1400kPaを越えないように注意ください。
部品の寿命を低下させるばかりでなく、破裂の危険性があります。
6. 充填チャックは確実に取り付けること。

7. フィルターセットの分解を行う際は、供給エアーを外すこと。
8. 電気配線の変更などを行う際は、関係する国の規則および地方の電気設備に関する規制に従って、許可された電気技術者が行うこと。

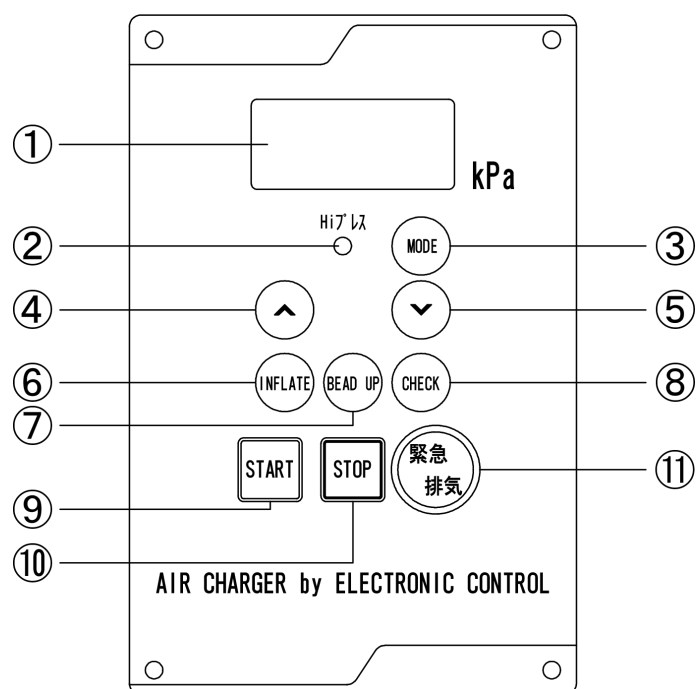


注 意

充填作業には危険が伴います。本機は2重3重の安全対策を行っていますが人為的なミスや突発的な故障に全て対応できるわけではありません。しかしながらこういう万一の場合を考えて警告事項で述べている安全囲いを使用してください。

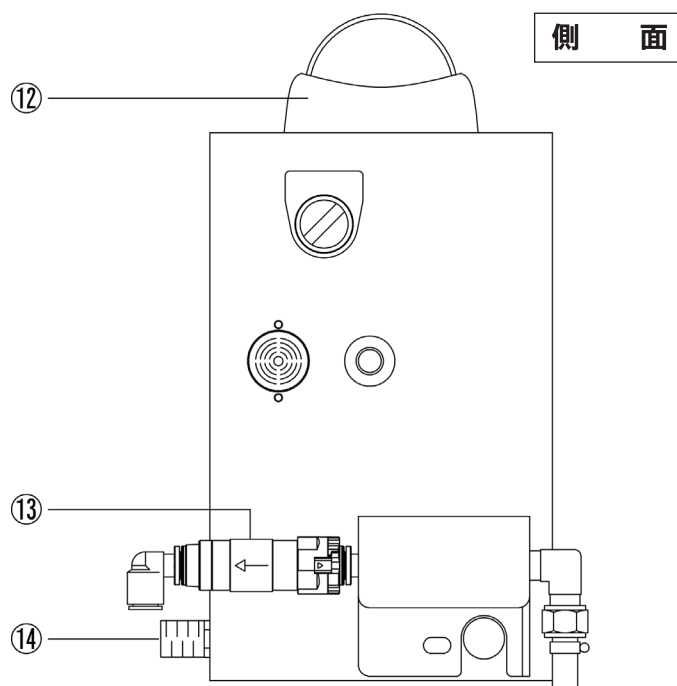
4. 各部の名称

【 操作部 】



- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| ① 圧力表示部 | ⑤ ダウンボタン | ⑨ スタートボタン |
| ② Hiプレスモード | ⑥ インフレーターボタン | ⑩ ストップボタン |
| ③ モードボタン | ⑦ ビードアップボタン | ⑪ 緊急排気ボタン |
| ④ アップボタン | ⑧ チェックボタン | |

- ⑫ 警告灯
⑬ 排気用フィルター
⑭ マフラー



5. 操作手順



警 告

タイヤのエア充填の時は常に、いかなる人身も損傷および物質の損害も起こさないようにするため、国およびタイヤメーカーの定めるガイドライン並びに安全基準を遵守してください。



注 意

エアを充填する前に、タイヤおよびリムに損傷がないことを確認してください。



注 意

ビードシート圧および最高圧は、タイヤメーカーの定める圧力を越えてはなりません。



注 意

充填チャックは確実に取り付けてください。

(1) 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

- ①本機本体に外観上の異常（変形、破損、摩耗等）はないか。
- ②フィルターにドレインが溜まっていないか。

(2) 取り扱い方法

■準備作業

- (1) 本体後部の供給エアースポットにコンプレッサー等のエアースポットを接続してください。
- (2) 電源コードを接続してください。
- (3) 自動充填機側面の電源スイッチを「ON」位置にしてください。

■操作パネル／ボタン機能について

①モードボタンについて

電源投入時、全てのモードランプは消灯しています。この状態が通常充填のモードとなります。**MODE** ボタンを押すごとに各モードに変わります。

【モードの流れ】

通常充填モード（ランプ全消灯時）

↓

H i プレスモード

↓

通常充填モード（ランプ全消灯時）

■基本操作

①タイヤにエアーを充填する場合

- ①電源を入れると初期設定圧が表示されます。
- ②充填したい設定圧を、**▲** **▼** ボタンで設定します。
- ③エアーチャックをタイヤのバルブに咬まし、**START** ボタンを押します。
- ④エアー充填が始まります。
設定圧よりタイヤ圧の方が高い時は、エアーを排気始めます。
- ⑤設定圧にタイヤ圧が達すると、ブザーが鳴り充填完了です。

②タイヤ圧のチェックする場合

エアーチャックをタイヤのバルブに咬まし、**CHECK** ボタンを押します。
一定時間、タイヤ圧を表示します。チェック中は一の桁の小数点が点滅します。

③タイヤ圧を排気する場合

エアーチャックをタイヤのバルブに咬まし、**緊急排気** ボタンを押します。
タイヤ圧を排気します。

STOP ボタンを押すと排気をストップします。

④充填を緊急停止させる場合

例えば、圧力設定ミスやタイヤが異常な場合など、緊急に充填を停止させたいとき
STOP ボタンを押すと充填作業を停止します。

⑤補助充填機能について

補助充填とは、タイヤの内圧が100kPa以上あり、タイヤ内圧と設定圧の差が200kPa以内ならば、設定圧を設定しエアーチャックをタイヤのバルブに咬ますだけで、充填を始める機能です。

但し、緊急停止やエラーが発生したときの、**STOP** ボタンを押したあとは、上記の補助充填の条件が満たされていても、補助充填を行いません。

例えば、タイヤ内圧150kPaで、設定圧220kPaならば補助充填を開始。
タイヤ内圧90kPaで、設定圧200kPaならば補助充填は行わない。

⑥ビードアップ機能

ビードとホイールの嵌合をよくするため、一旦設定圧より100kPa多く入れてから、設定圧まで排気させる機能です。

作業手順

- ①充填する設定圧を **▲** **▼** ボタンで設定します。
- ② **BEAD UP** ボタンを押すと、充填を開始します。
- ③設定圧にタイヤ圧が達するとブザーが鳴り、充填終了です。

⑦インフレーター機能

充填中にエアーがタイヤとホイールの間から漏れて、ビードが勘合しない場合、タイヤチェンジャーのタイヤ爪より、瞬時勢いよくエアーを噴射させてビードを勘合させる機能です。

作業手順

- ①充填する設定圧を   ボタンで設定します。
- ② **INFLATE** ボタンを押すと、充填が開始すると同時に、カウントダウンが始まります。
- ③カウントが0になったら、インフレーターが噴射します。
- ④一定時間の噴射が終わると、ビードアップ機能の充填方法に自動的に変わり、充填を続けます。
- ⑤設定圧にタイヤ圧力が達するとブザーが鳴り、充填終了です。

■各モードについて

Hiプレスモード

内容積が少ないタイヤに高圧充填するときのモード。

通常充填モードではエラーが発生する場合があるので、特殊な充填を行います。

■警告灯の動作内容

下記内容で警告灯が動作します。

モ ー ド	状 態	表 示 灯	
通 常 充 填 モ ー ド	充填中	赤	点 滅
H i プ レ ス モ ー ド	充填中	赤	点 滅
充 填 完 了	設定圧点滅	緑	STOPを押すまで “点滅” 又は チャックを外すまで “点滅”
エ ラ ー 発 生	エラーコード表示	赤	赤と緑を 交互に “点灯”
		緑	
〈 手 動 〉 排 気	充填中	赤	点 灯

(3)エラー表示と解除方法



注 意

これはPCタイヤに誤って高圧充填することを防ぐ為のエラー判定ですがタイヤの大きさやバルブと充填チャックのかみ合いの不具合によっても、タイヤの圧力上昇は左右される為に、100%のエラー判定は保証できません。
誤ってPCタイヤに高圧充填しないように、充分注意してください。

エラー表示と内容

E - H

圧力上昇が大きすぎる場合

PCタイヤに誤って高圧設定した場合

エアチャックとバルブの噛み込みの不良などでタイヤ内にエアが入らなかった場合

電磁バルブがドレインなどで汚れてバルブが閉じる速度が遅い場合

E - L

圧力上昇が低すぎる場合

エアチャックからエア漏れしている場合

E - E

充填バルブの不良でエアが止まらなくなった場合

L - L

圧力が急に低くなった場合

(元圧(コンプレッサー圧)が設定圧より低くなった場合など)

E h L

排気時、排気下降圧が低い場合

排気バルブの消音マフラーのゴミが詰まっている場合

E h H

排気時、排気下降圧が大きい場合

エアチャックとバルブの噛み込み不良でタイヤ内のエアが抜けない場合

エアホースが途中でねじれている場合

エラー解除

エラーが発生した場合、ブザーが鳴り充填がストップします。

エラー表示の解除は **STOP** ボタンを押すと解除し、ブザー音が止まります。

6. 調整方法

①ゼロ調整

- ①エアークラックは解放状態にしておくこと。
- ② **STOP** ボタンを押しながら電源を入れると、表示が【P－】と表示します。
- ③ **CHECK** ボタンを押すと、表示が【P－0】となり、しばらくすると【C－0】となる。
- ④ 【C－0】になったら、 **STOP** ボタンを押す。

②スパン調整

- ①タイヤ内圧がわかっているタイヤバルブにエアークラックを咬ませる。
- ② **STOP** ボタンを押しながら電源を入れると、表示が【P－】と表示します。
- ③ **緊急排気** ボタンを押すと、表示が【P－1】となり、しばらくすると【C－1】となる。
- ④ 【C－1】になったら、セットしたタイヤ圧を **▲** **▼** ボタンで入力し **STOP** ボタンを押す。

7. 定期点検

本機を安全に長く使用して頂くための大切な点検項目です。
定期的に点検を実施してください。



危 険

点検の際電気部品にふれる必要のある場合は、必ず電源を切ってください。
又、元電源を入れたまま電気部品にふれる必要のあるときには、端子等にふれないように十分に注意してください。
エアー系統を点検する必要がある場合には必ず元圧を切り、本機内の圧力が無くなったことを確認してから点検してください。



注 意

カバー等を外して点検を実施した場合は、必ず元通りにすべての取付ネジ等を使用して元に戻しておいてください。
点検の結果、異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでは本機の使用を禁止して、直ちにお買上げの販売会社に連絡してください。
そのままお使いになると本機の破損及び重大な事故につながる危険性があります。

点検期間	点 検 箇 所	点 検 項 目	点 検 要 領
毎 日	フィルターセット	ドレンが溜まっていないか	ドレン抜きを行う
6ヶ月毎	エ ア ー 系 統 電 気 系 統	ひび、エアー漏れはないか ひ び 、 損 傷 は な い か	調 整 ・ 交 換 調 整 ・ 交 換

8.仕 様

型 式	PA-01
圧 力 測 定	高精度圧力センサー
電 源	AC 200V
圧 力 設 定 範 囲	100～800kPa
使 用 空 気 圧	800kPa以上

9.製品保証規定

(1)保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後 1 年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する保証はいたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合etc）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

本機は屋外設置および防水仕様になっていませんので、錆、腐食、漏電の水による故障は保証いたしません。

(2)保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社において判断させていただきますので御了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の7項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。 型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。



ONODANI 小野谷機工株式会社



本社／ 福井県越前市家久町63-1 ☎0778-22-2124

札幌営業所	☎011-791-8588	仙台営業所	☎022-255-7408	秋田営業所	☎018-800-2556
東京営業所	☎03-5970-6011	新潟営業所	☎025-281-8251	名古屋営業所	☎052-354-1021
福井営業所	☎0778-21-0335	大阪営業所	☎072-337-5056	広島営業所	☎082-573-5012
四国駐在	☎082-573-5012	福岡営業所	☎092-582-6743	沖縄駐在	☎092-582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。